

## 「宮崎牛のEU輸出に対応したおいしさ評価事業」に関する業務委託仕様書

### 1 業務の名称

宮崎牛のEU輸出に対応したおいしさ評価事業

### 2 主旨

平成30年度に国際基準に対応した高い衛生基準を満たす「輸出拠点施設」が県内に整備され、平成31年度から宮崎牛のEUへの輸出が本格化する見込みである。一方、EUには既に他県産の和牛が輸出され、一定の市場を形成している。また、宮崎牛のEUにおける販売網を構築する上では、高級部位であるサーロインやヒレなど「ロイン系」中心の偏った輸出への対策が重要となる。

このため、宮崎牛のEU輸出促進に向け、EUでの牛肉の市場調査及びその結果に基づきおいしさの評価（嗜好性調査）等を実施することで、EUにおける消費者の牛肉への訴求点を「見える化」し、その結果を活用することで、EU全域での販路開拓を目指す。

### 3 業務内容

#### (1) EU圏における牛肉に関する市場調査・分析

宮崎牛の輸出促進が見込まれるEU圏の主要国（イギリス、フランス、ドイツ等）における牛肉の市場調査を実施する。

##### ① 調査対象者

イギリス、フランス、ドイツ等の消費者で、和牛の主な消費者層と考えられる中～高所得層とする。また、統計学的に成立するサンプル数を確保し、可能な限り幅広い年齢層を調査すること。

##### ② 調査内容

#### ア 市場調査の実施

以下の設問例を参考に、EU圏における各牛肉（赤身主体外国産牛肉、外国産WAGYU、国産和牛、宮崎牛、他ブランド和牛等）の消費者ニーズ、消費頻度、購入頻度、消費者の認知度・意識等を把握し、宮崎牛の販売戦略構築のための材料とする。

（設問例）

各牛肉の消費頻度や購入頻度、購入場所（飲食店、精肉店、スーパーマーケット等）、購入部位、認知度・イメージ、購入選択ポイント、調理頻度、希望価格 等

#### イ 調査結果の分析・提案

アで明らかになった調査結果を基に、EU圏における宮崎牛の販路拡大のために採るべき戦略と方向性を提案する。なお、分析については、国別や所得層別など詳細に行う。

(提案例)

EU圏における需要拡大のための課題と方向性、宮崎牛が採るべき今後の戦略等

(2) EUにおける宮崎牛のおいしさ評価（嗜好性調査）の実施

県が指定するフランス・ブルゴーニュ大学内の調査・分析法人であるSENSOSTAT（センソスタット）において、宮崎牛の嗜好性調査を実施する。

① SENSOSTATでの嗜好性調査内容

ア 被験者

100名程度とし、男女比は1：1とする。年齢は18～70歳とする。

イ 使用サンプル

宮崎牛2～3部位、外国産WAGYU、外国産牛肉の合計4～5サンプルとする。

ウ 調査方法

SENSOSTATと十分に連携し、実施する。

② 牛肉サンプルの調達

県が指定するEU圏において宮崎牛を取り扱う卸売業者から調達すること。

③ 調査結果の分析

SENSOSTATと連携し、調査結果の分析を行う。

④ 県が実施する現地調査における随行及びサポート等

委託期間中に、本業務の遂行のために県が現地調査する場合の随行及びサポート等

3 業務の実施体制

(1) 業務体制

嗜好性調査の実施においては、調査主体であるSENSOSTAT、県が指定する有識者及び宮崎牛取扱業者等と緊密に連携すること。また、本仕様書に定める業務委託内容等を踏まえ、必要な業務委託体制を構築すること。

(2) 報告

各業務工程における進捗・管理状況や課題に対する管理・対応状況等について、県の求めに応じて報告すること。

4 その他

(1) 成果物の電子データは、県へ提出する。

(2) 実施に当たっては、県と十分に連絡を取りながら行う。